



# 日本インシュレーション株式会社 会社概要説明資料

防災・省エネを通じて、産業・社会や地球環境に貢献する

## 日本インシュレーションとは…

- **耐火・断熱分野で独自の技術開発を進め、  
業界標準を作ってきた開拓者**  
デファクトスタンダード パイオニア
- **新規技術・用途開発に展開できる研究開発力**
- **建築・プラント分野で長年育んできた優良顧客基盤で  
安定した収益を上げる業界リーダー**



---

# 当社グループの概要

---

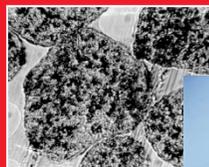
社名	日本インシュレーション株式会社 JAPAN INSULATION CO., LTD.
創業	1914（大正3）年4月8日
設立	1949（昭和24）年1月14日
代表者	代表取締役会長 大橋 健一 代表取締役社長 吉井 智彦
本社	大阪府大阪市中央区南船場一丁目18番17号
資本金	743,760千円（2019年3月末現在）
連結業績	●売上高：11,766百万円 ●経常利益：1,510百万円（ともに、2019年3月期）
従業員数	●連結：366人 ●単体：302人（ともに、2019年3月末現在）
事業内容	ゾトライト系けい酸カルシウムを基材とした 各種の防耐火建材、保温材等の製造、販売及び設計・施工
グループ会社	海外連結子会社：1社（ジェイアイシーベトナム 有限会社）



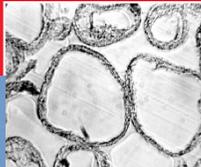
# 当社グループの歩み



高耐熱性のゾノライト系  
けい酸カルシウム材の工業化に  
世界で初めて成功



建材用結晶  
の断面



保温材用結晶  
の断面

1914年 創業

個人事業「大阪パッキング製造所」設立  
⇒1936年に合名会社に改組

1949年 設立  
株式会社に改組

1989年 社名変更

「日本インシュレーション株式会社」に改称

2014年 海外子会社

ベトナムに100%子会社設立

戦前

戦後 (1945年～)

1966年

2014年【創業100周年】

1927年  
大阪工場  
(大阪市西区に移転)

1960年  
岐阜工場  
(岐阜県)

1989年  
北勢工場  
(三重県)

2016年  
ベトナム工場  
(ベトナム)

1930年  
大阪新工場  
(大阪市西成区)

1966年  
生産を岐阜工場へ集約  
& 大阪工場を閉鎖

1970年 生産設備増設  
1971年 生産設備増設  
1978年 生産設備増設

1989年 第1期工事完成  
1990年 第2期工事完成  
1997年 第3期工事完成

1959年 東京営業所に改組  
(東京都中央区に移転)  
1974年 東京支社に改組

1966年  
研究所  
(岐阜工場隣接地)

1990年  
中央技術研究所  
(岐阜県)

1949年 東京支店  
(東京都港区) → 1955年 東京出張所  
(横浜市)

1981年  
東京本部  
(東京都中央区)

2004年  
商品PRセンター  
(岐阜県)



## 日本インシュレーション

熱、電気、音、振動などの  
絶縁材・絶縁行為の意味

社名に込めた意思



主に耐火・保温・断熱等、熱を対象とした絶縁材の製造  
と絶縁工事を通じ、

省エネルギー化による地球環境の保全と、  
建築物の防・耐火化による人命・財産の保護を通じ、  
産業・建物の防災・強靱化に貢献する



建築関連 41.2%

48億円

- 建材販売（耐火被覆材、内装仕上げ材等）
- 完成工事

## 主な用途市場

人命と財産の保護のために、建築基準法に基づく防・耐火処置が必要とされる建築分野

- オフィスビル
- 商業施設（ショッピングモールなど）
- 物流施設
- 生産施設（工場など）
- 交通施設（空港や駅など）

58.8% プラント関連

69億円

- 保温材
  - 耐火被覆材
  - 完成工事
- 販売

## 主な用途市場

各種の熱機器を使用するプラント分野

- 火力及び原子力発電プラント
- 石油精製、石油化学プラント
- 製鉄プラント ○ 鋁業、窯業プラント
- 繊維プラント ○ 製紙プラント
- 製糖プラント ○ 石油備蓄基地
- 環境プラント ○ その他一般化学プラント

2019年3月期  
連結売上高  
117億円



## 安全で快適な都市・居住空間を実現する耐火被覆材

当社開発製品「タイカライト」は、  
耐火被覆材の耐火認定の基礎を構築



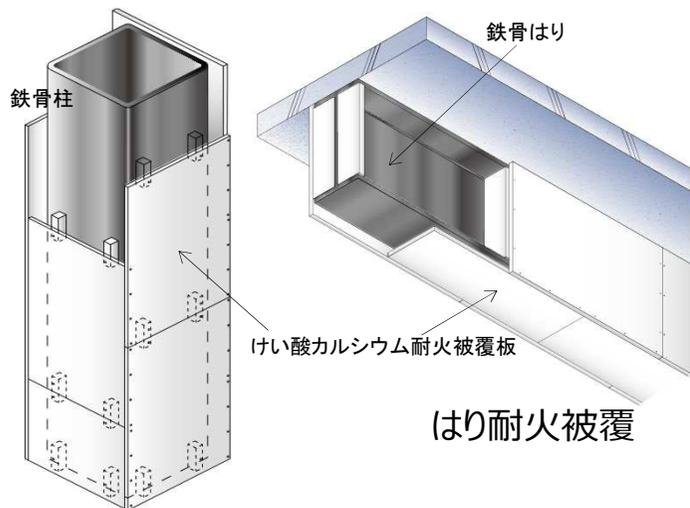
大型案件は自社の責任施工で対応  
(小口案件は工事店へ材料販売を展開)

確固たる業界ポジションを確立

### \* 耐火材（耐火被覆材）とは…

- 熱に弱い鉄骨のはり・柱、免震装置など、建物の構造部材を被覆して、火災時に、構造部材を火災や熱から護り、建物の倒壊を抑制することで、人命や財産を護る役割を担う
- 建築基準法に基づく耐火構造認定を取得した製品





柱型耐火被覆

## けい酸カルシウム耐火被覆材の特徴

(他の耐火被覆材との比較)

- 乾式工法で工期短縮に貢献
- 工場成型品で品質が安定
- 仕上げ兼用で柱を細くできる  
(= 有効床面積を大きく取れる)
- ボードなので見栄えが良い

はり柱の耐火被覆

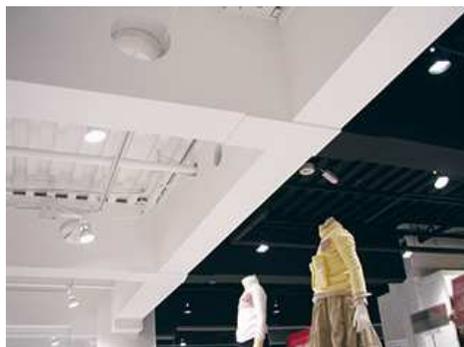
## タイカライト



柱の耐火被覆 (事務所)



柱・はりの耐火被覆 (物流施設)



はりの耐火被覆 (商業施設)



EVシャフト・ブレースの耐火被覆  
(複合ビル)



## プラントの効率的な断熱で省エネに貢献する保温材

当社開発製品「ダイパライト」が  
保温材のJIS規格の基礎を構築



自社工事も実施し、材工一貫による  
高レベルの品質管理を実現

確固たる業界ポジションを確立

### \* 保温材とは…

- 火力発電所や石油精製・化学工場などでは、機器や配管の内部を数百度になる蒸気や流体が通る。  
⇒ こうしたプラントにおいて、省エネ効果を発揮するためのもの
- 主に、ボイラー・炉などの熱設備や蒸気配管などの**温熱配管を被覆して内部の熱を逃さないようにする製品**

### \* 高温用断熱材とは…

- 業務用スチームオープンや焼成炉など内部が数百度の高温になる機器がある。  
⇒ 耐熱性が求められる部材として利用され、機器の商品開発に貢献する
- 加工できるので、内部の配管や機器の形状にあわせた部材として工場加工して提供する



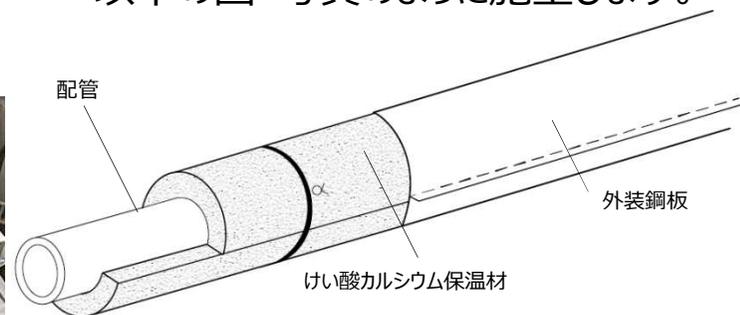
## 当社のけいカル保温材の特徴

- 1,000℃と極めて高い耐熱性を持つため、高温になる熱設備等に対しては特に高い適性
- ベトナム工場では、バイオマス資源を原燃料とした、より環境にやさしい当社独自の製造技術によって製造

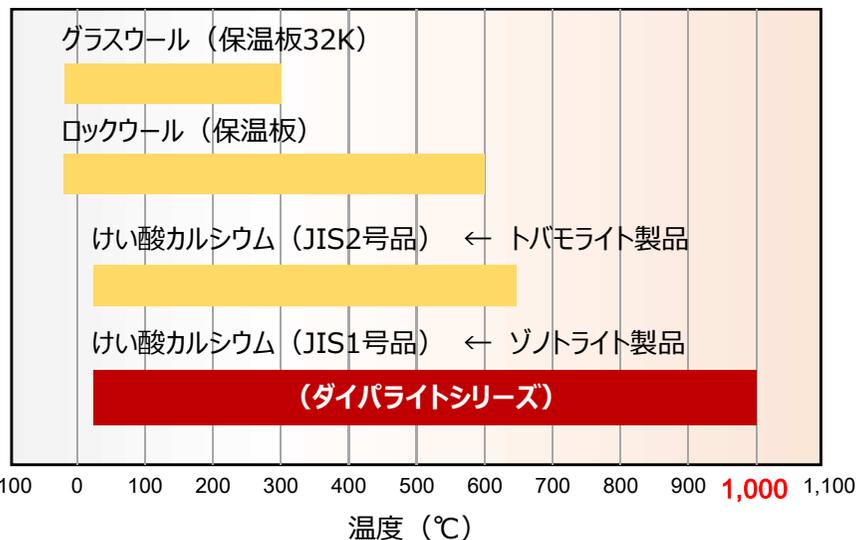
## ダイパライト



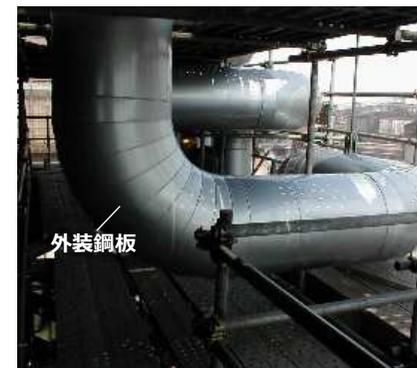
- コンビナートプラントや発電設備をはじめとする各種工場の配管・乾燥炉・塔槽類・タンク等の工業用保温材は以下の図・写真のように施工します。



## 各種保温材の使用温度比較

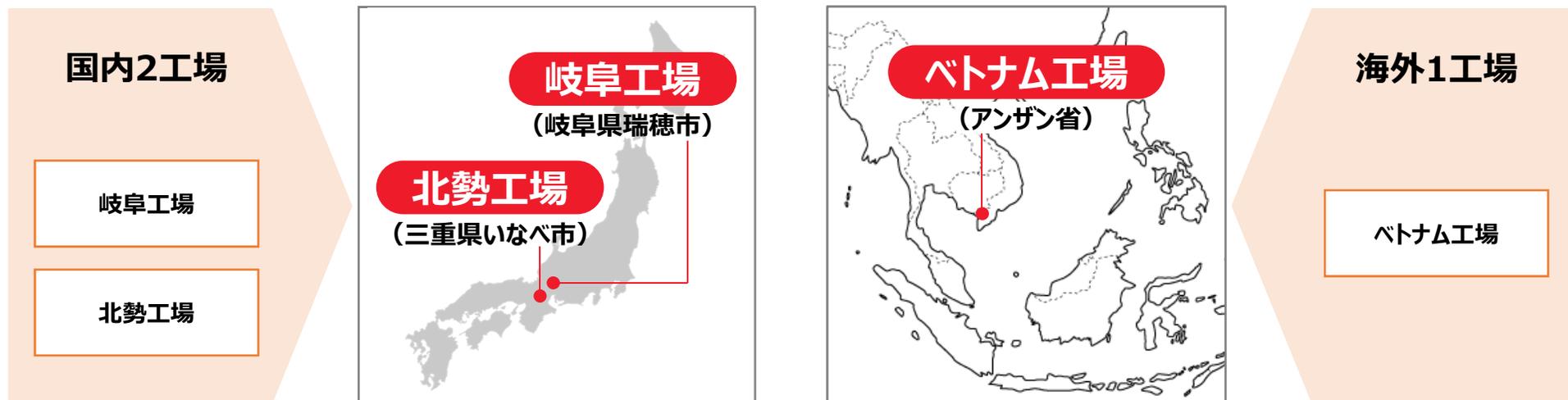


保温材取付け (施工中)



施工完了

## 国内最大の供給・アジア販路拡大のための工場体制



**岐阜工場**

▶ 主に、**プラント市場向け製品**（保温材）を生産

**北勢工場**

▶ 主に、**建築市場向け製品**（耐火被覆材、不燃意匠内装材等）を生産

**ベトナム工場**

▶ 主に、**東南アジア・東アジアのプラント市場向け製品**（保温材）を生産



---

# 当社グループの特徴・強み

---

**1** 独自の**製造技術力**と、他分野展開に結びつく**研究開発**

**2** 自社工場製造と材工一貫による**高い収益性の実現**

**3** 長年にわたり培ってきた**安定した顧客基盤**



- 当社グループの核となる事業は、**ゾノライト系けい酸カルシウムを基材とした**各種の防耐火建材・保温材等の製造、販売及び設計・施工。
- 工業的に利用されるけい酸カルシウムは、ゾノライト系とトバモライト系の2種類。

## ゾノライト系けい酸カルシウム材の主な特徴

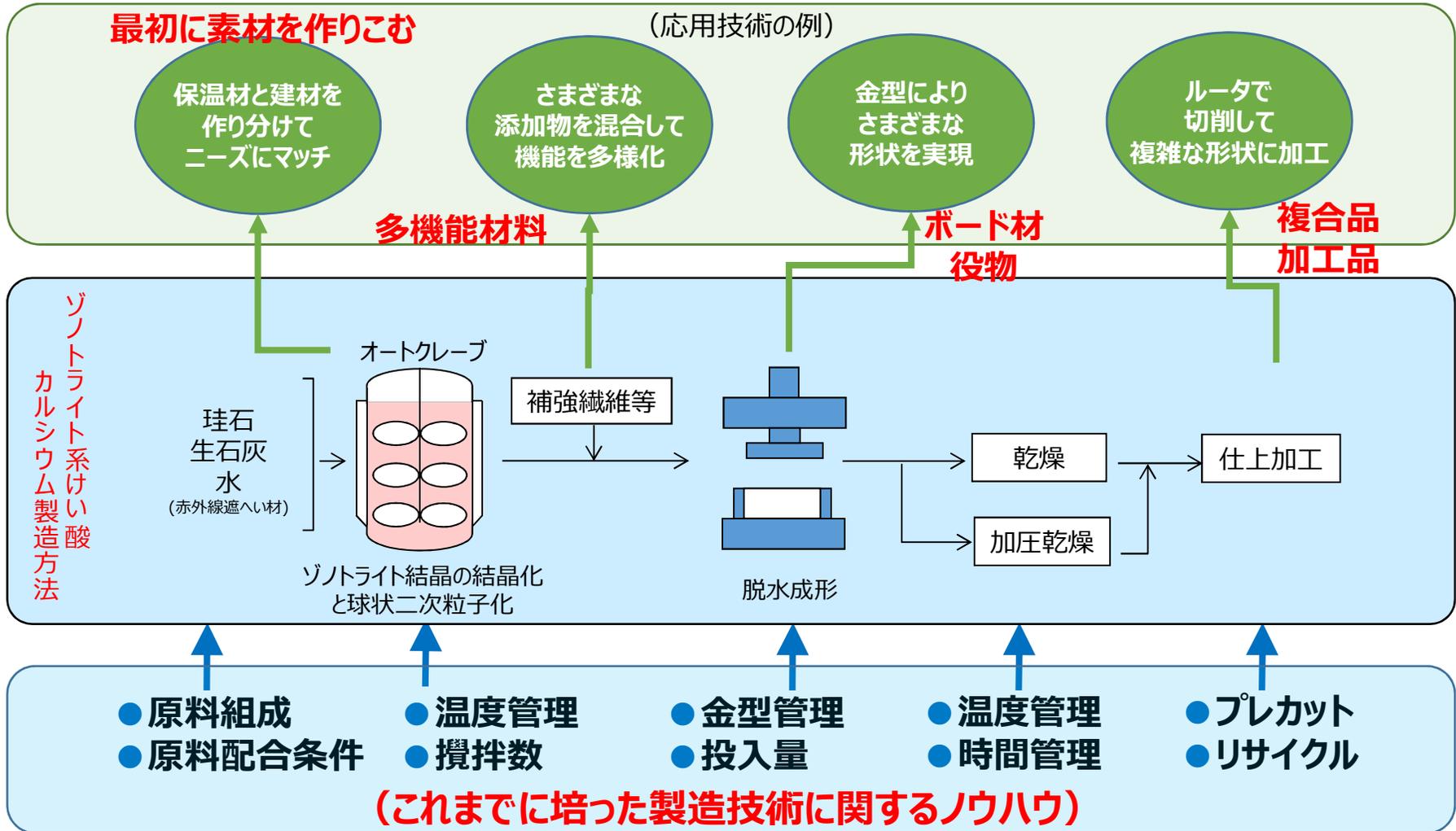
① **1000℃に耐える耐熱性**

② **高い断熱性**

③ **高温でも少ない寸法変化**



## 膨大なノウハウの蓄積が不可欠な製造技術を確立



この製造技術が耐火被覆材・保温材の無石綿化の基礎となり、海外技術輸出へとつながった

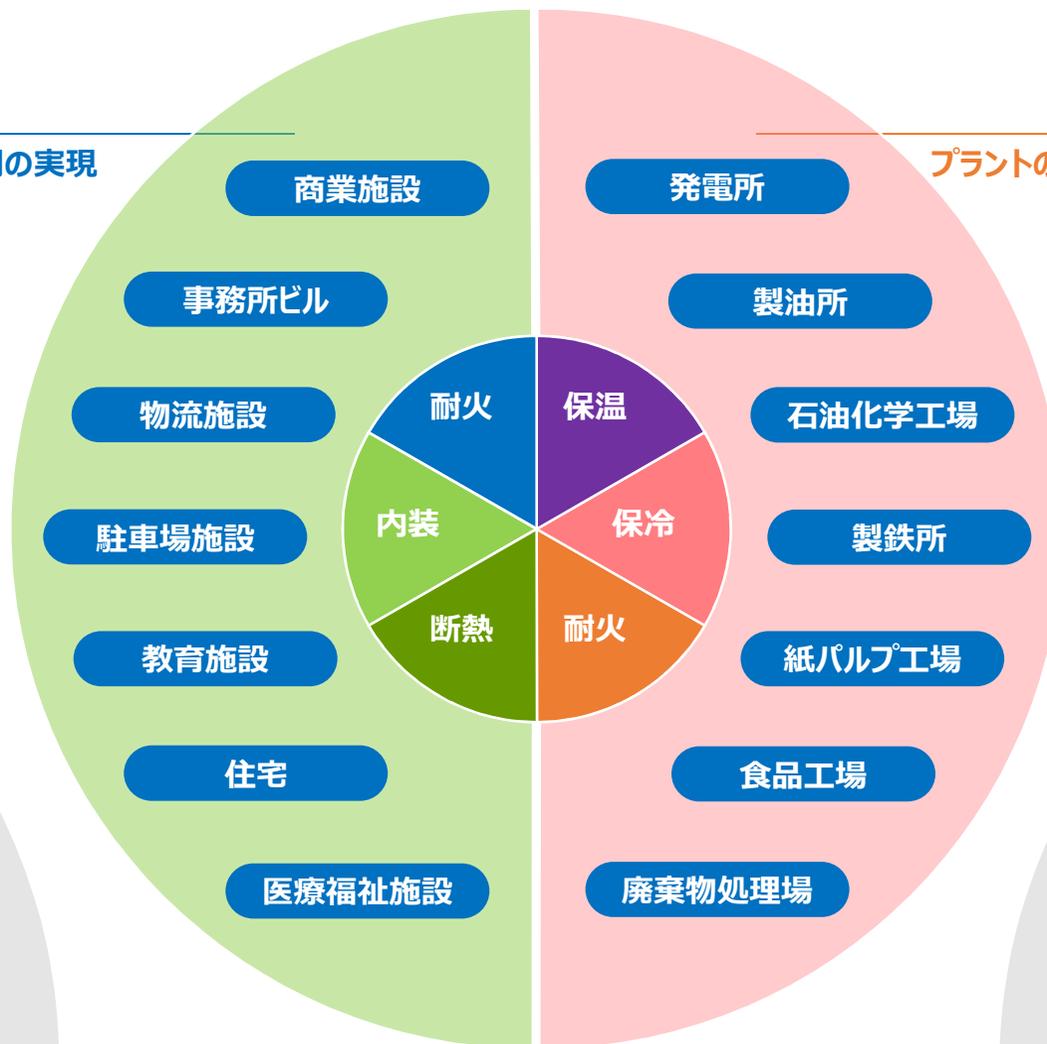
## 素材の改良や新材料の開発で、既存市場の拡大・深耕 素材の耐熱性を活かして、新市場での商品開発

### 建築分野

安全で快適な都市・居住空間の実現

### プラント分野

プラントの効率的な断熱と安全を支える



### その他の分野

粉粒体分野

耐熱型材分野

美術工芸分野

### その他の分野

土木分野

業務用機器分野

家庭用機器分野

船舶分野

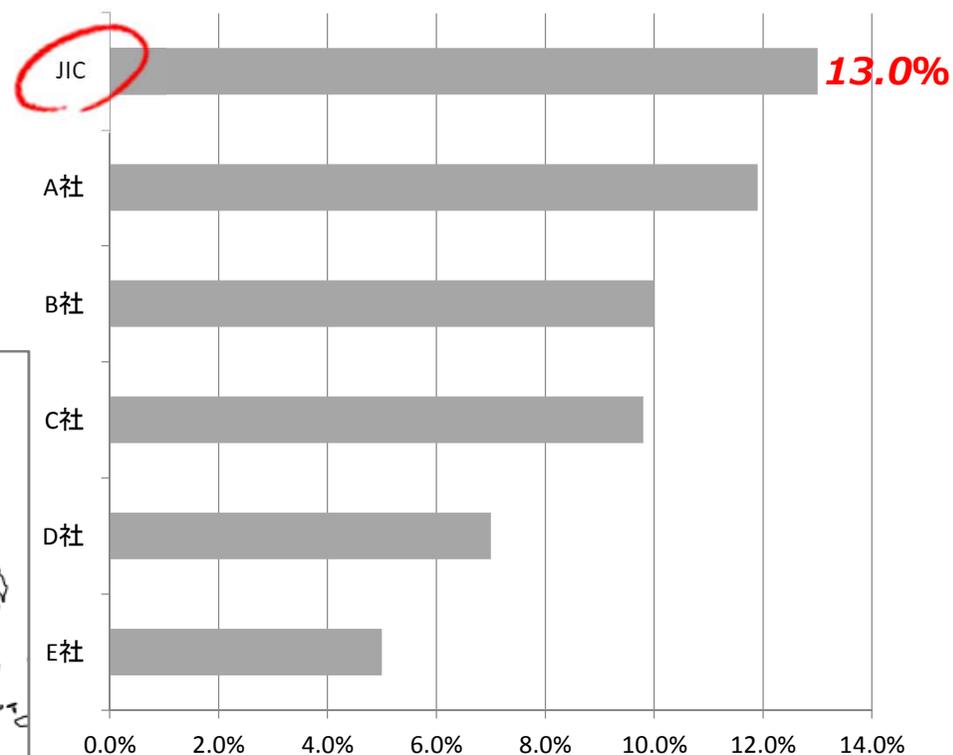


## 自社生産による製造原価低減で上場会社と比較しても**高い収益性を実現**

国内外の生産拠点(2019年12月末現在)



競合上場企業との営業利益率の比較<sup>\*1</sup>



※1 建築分野において耐火被覆材、プラント分野において保温材を製造・販売をしている企業を選定。今期予想数値により当社作成。当社は連結の数値を使用。



## 実施製造・出荷から施工に至る プロセスを**自社一貫管理**

## 高い収益性と 品質管理を実現

自社工場で、工事現場の施工者が作業しやすいよう、荷積みや梱包の指示が可能。施工現場での作業生産性がアップできます

### 自社工場



施工図に基づきプレカット出荷し、現場廃材の極小化します。環境にやさしくて、コスト削減になります

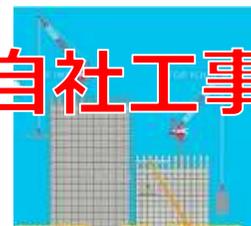


営業から工場へ  
細やかな指示



製品輸送

### 自社工事



自社の工場から材料を仕入れるので、マージンがかからない。  
**産地直送**だね！

自社製品なので、工場も納期調整に応じてくれる。工程に応じて必要な材料の増減が可能で、材料の無駄が少ない



# 特徴・強み③ 安定した顧客基盤

長年にわたり培ってきた大手優良企業様を中心とした**安定した顧客基盤**



## 建築事業



## プラント事業

石油化学工場



石油精製工場



大手設計事務所  
大手ゼネコン

**安定した顧客基盤**

電力・石油会社  
大手エンジニアリングメーカー



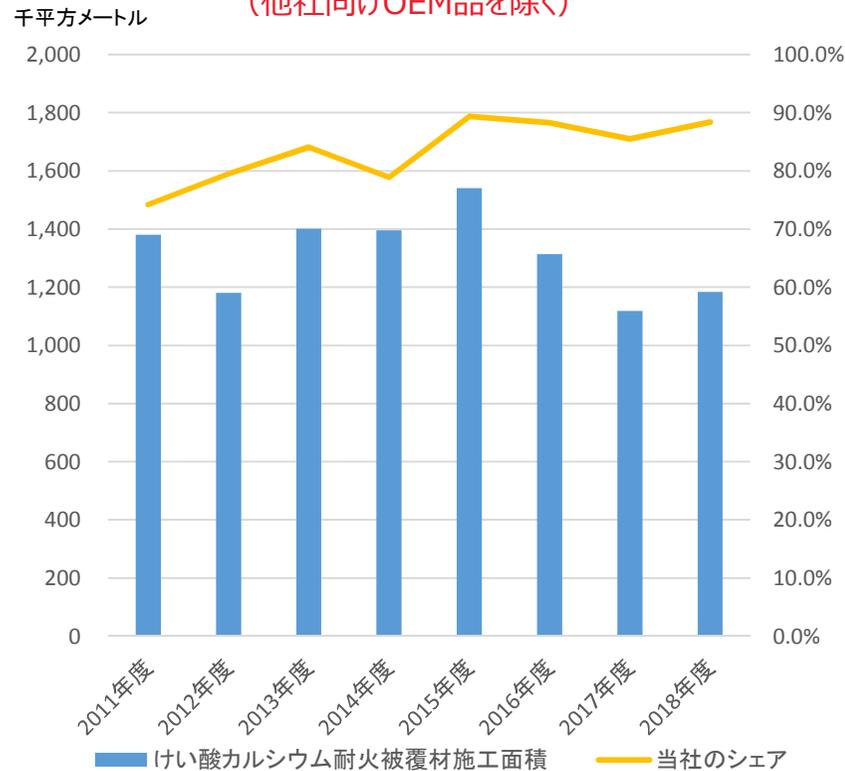
---

# 今後の方針

---

- けい酸カルシウム耐火被覆材市場において、耐熱性の高いゾノトライト系けい酸カルシウム製品により、当社シェアは上昇傾向
- けい酸カルシウムは工程短縮、耐久性に優れており、**一定のシェアを維持し、安定した市場を確保**

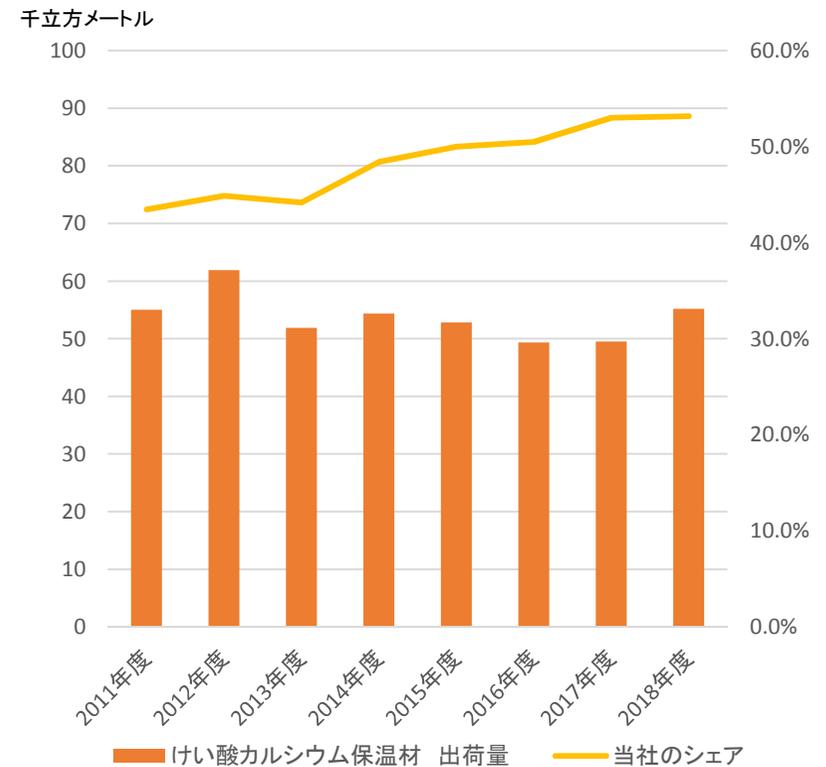
けい酸カルシウム耐火被覆材市場における当社シェア\*  
(他社向けOEM品を除く)



\* 当社のシェアは、せんい強化セメント板協会統計から個別認定の施工面積を加味して当社で推計。

- けい酸カルシウム保温材市場において、工場プレカット、大型ボードにより生産効率の優位性があるため、**一定のシェアを維持し、安定した市場を確保**

けい酸カルシウム保温材市場における当社シェアの推移\*

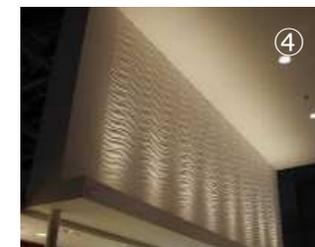


\* 当社のシェアは、けい酸カルシウム保温材協会の統計にり当社で作成



## ●耐火被覆材事業の関連事業開発（既存市場の拡大・深耕）

- 顧客の意見を取り入れた商品改良・開発による顧客満足アップと更なるシェアアップ  
【近年の実績】物流施設の車路向けに耐風圧の高い施工法を開発 写真①
- 新しい建築構造に適した新商品の、ゼネコン・住宅メーカーとの共同開発推進  
【近年の実績】大規模木造建築物向け耐火被覆 など
- 商品ラインナップの強化  
【近年の実績】新商品「タイカベール」開発、OEM品強化 など



## ●用途開発による新市場創出

- 建築物等の細部にわたる耐火性能向上要求顕在化への対応  
【近年の実績】
  - ・免震装置耐火システム（商品名：めんしんたすけ） 写真②
  - ・はり貫通孔耐火被覆材（商品名：すりーぶたすけ） 写真③
  - ・コンテナハウス（外壁の耐火用途） など
- 燃えない素材特性に機能添加  
【近年の実績】
  - ・デザイン内装パネル（商品名：タイカライトウッド） 写真④
  - ・CFRP型材（商品名：アルティーボード） など



## ●保温材事業の関連事業開発（既存市場の拡大・深耕）

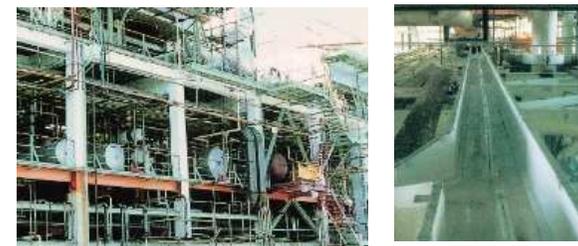
製品販売シェアに比べ相対的にシェアの小さい「工事施工」分野の規模拡大を目指して…

### ●常駐現場の拡大

→ 安定的な売上が確保できる常駐現場の拡大を推進

### ●これまでの保温工事に関連する新たな工事種類の開拓

- ・プラント架台やケーブルダクトの耐火被覆
- ・原子力発電所向けの金属保温材による工事
- ・犠牲防食材（商品名：マグネラップ）を使った工事



プラント架台やケーブルダクトの耐火被覆

## ●用途開発による新市場創出

### ●顧客ニーズを現場から収集し、ニーズに適した商品開発を推進

→ 今後は、燃料電池向け断熱材など、高温になる用途で他の断熱材が適用できない用途での商品開発を積極化

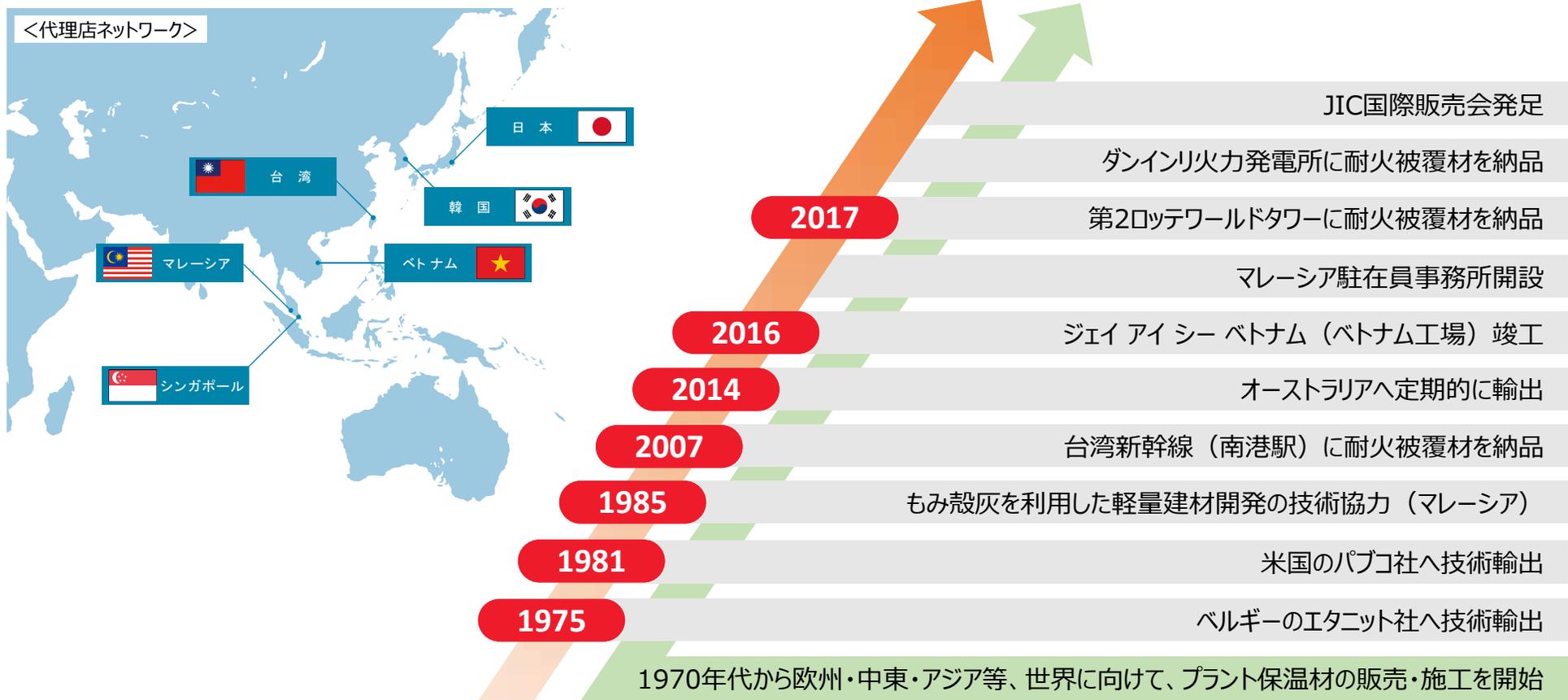
- 【近年の実績】**
- ・スチームオーブンレンジ用断熱材
  - ・蓄熱暖房機向け断熱材
  - ・船舶防火戸 など



オーブンレンジ(イメージ)



## 早期より海外への技術輸出を展開し、世界の産業界の発展に貢献 ベトナム工場を本格稼働し、さらに海外展開を進める方針

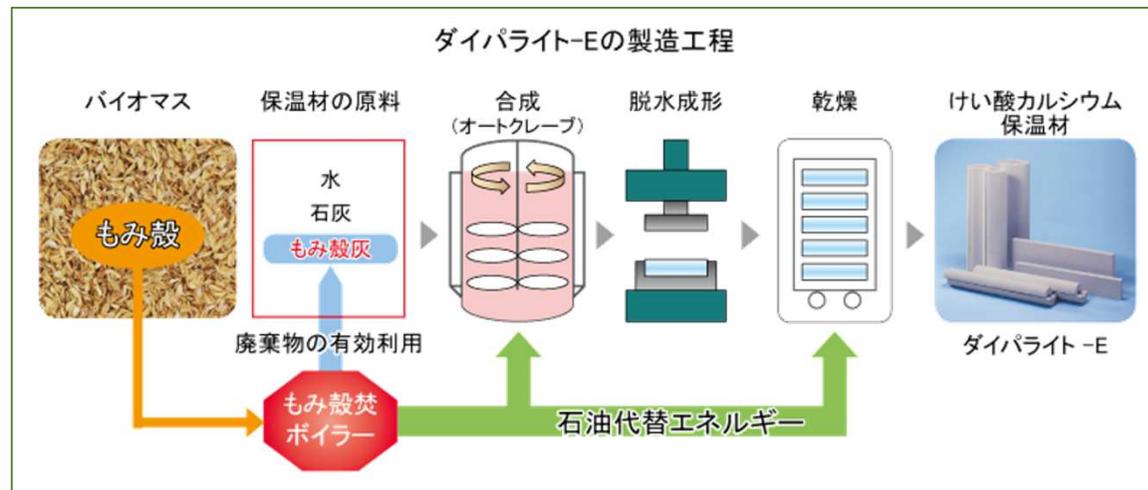


## ●東アジア・東南アジアにおけるベトナム工場製保温材の拡販

### ●環境配慮型製品としてのPR&拡販

→ バイオマス（もみ殻）を原料・燃料としている保温材「ダイパライト-E」（ベトナムで製造）が、温室効果ガス抑制につながることをセールスポイントに拡販推進

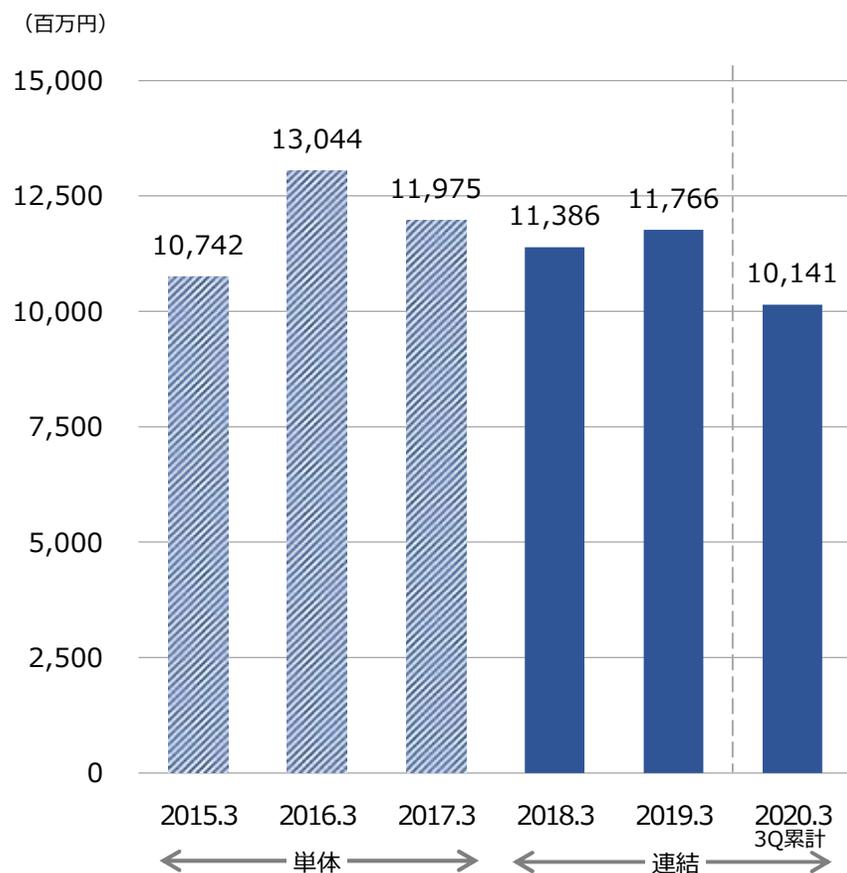
【背景】 ・アンザン省人民委員会により環境配慮事業として認証  
・2018年にUNIDO（国連開発機構）東京事務所が運営する「環境技術データベース」に当社「ダイパライト-E」が登録



### ●保温材以外のバイオマス製品の研究開発の推進（もみ殻の活用など）

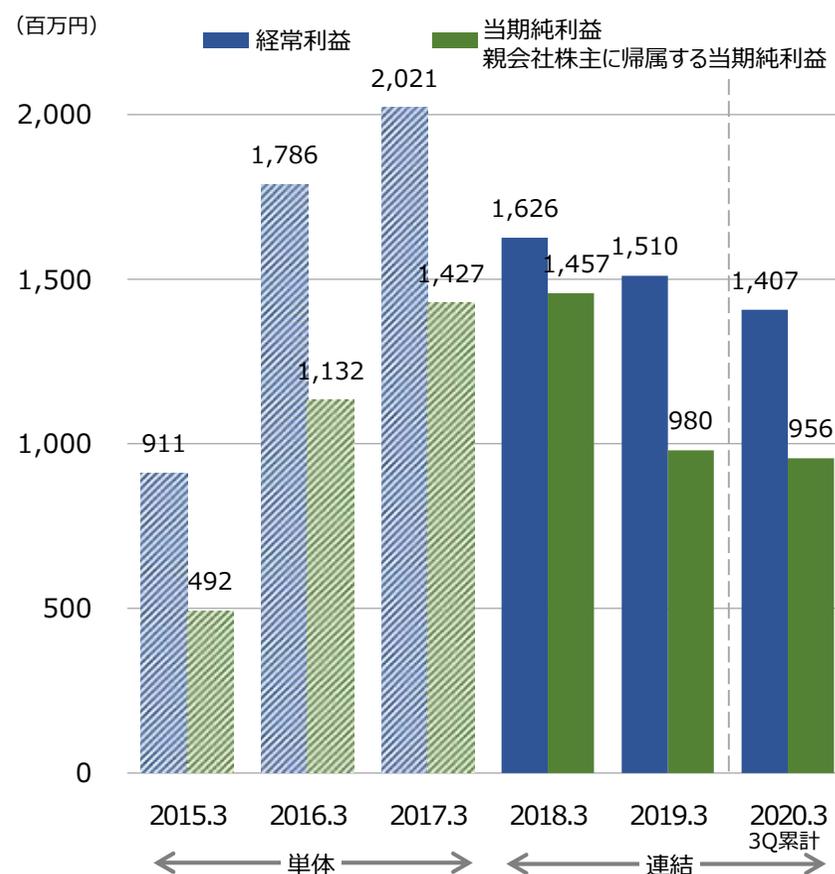


## 売上高

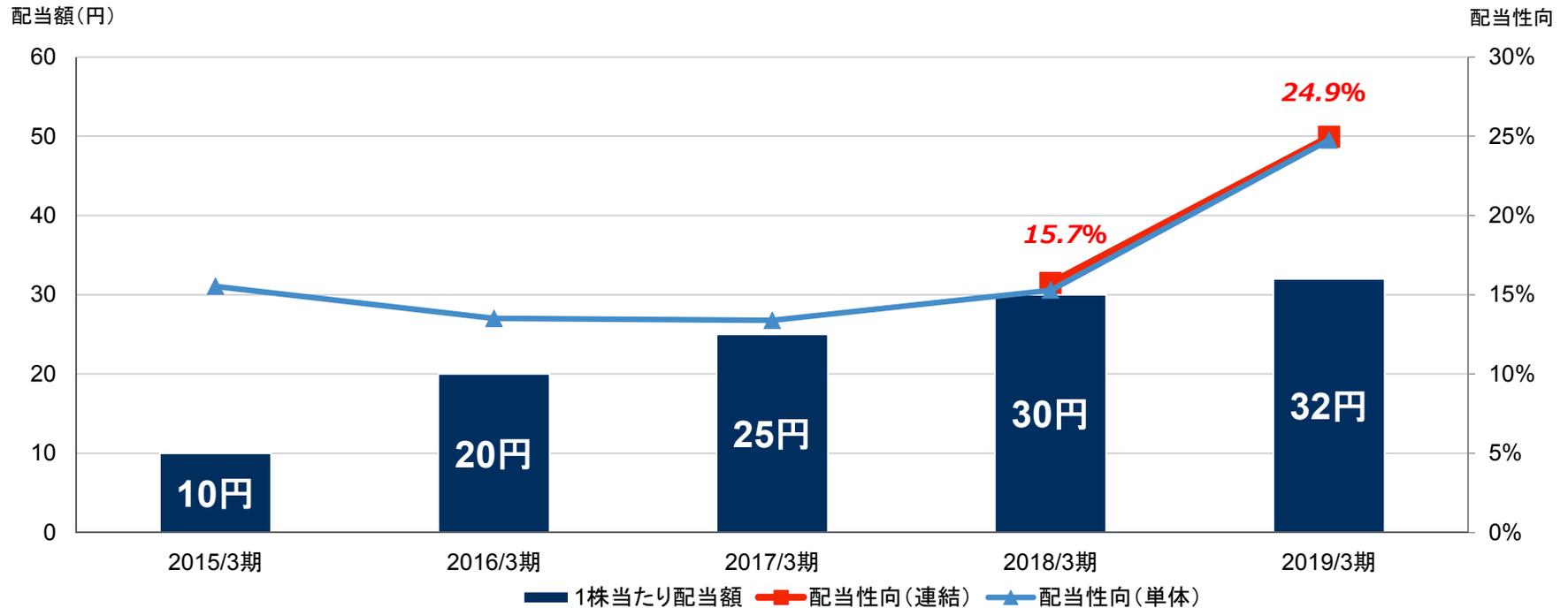


(注) 2017年3月期までは単体決算、2018年3月期以降は連結決算。

## 経常利益 / 親会社株主に帰属する当期純利益



- 直近5期連続増配であり、引き続き安定的な配当を行う方針



\*1 連結配当性向は有価証券届出書記載の「1株当たり配当額」を連結の「1株当たり当期純利益」にて除して算出



## JIC 長期ビジョン

### 建築領域 (国内)

安定顧客の維持拡大により  
競争力のある建築物耐火事業  
を構築する。

### プラント領域 (国内)

安定顧客の維持拡大により  
競争力のあるプラント保温・  
断熱事業を構築する。

### 目指す姿

100年企業として次の50年を見据えつつ、  
産業・社会や地球環境への貢献を果たし、  
社員が誇りと夢を持って働ける会社とする。

海外における事業基盤  
を構築する。

### 海外領域

プラント・建築に次ぐ  
第三の事業の柱を構築する。

### 新事業領域



## 免責事項

- この資料は投資家の皆様の参考に資するため、日本インシュレーション株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、2020年2月13日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 投資をおこなう際は、必ず当社が作成する新株式発行並びに株式売出届出目論見書（及び訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- 目論見書のご請求・お問い合わせは、下記の取扱金融商品取引業者までお願いいたします。

大和証券株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、株式会社SBI証券、岩井コスモ証券株式会社

## 将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。





日本インシュレーション株式会社